OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	スウェーデン語の前置詞motの意味について
Author(s)	南澤, 佑樹
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2019, 23, p. 45-60
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/71771
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

スウェーデン語の前置詞 *mot* の意味について

南澤 佑樹

1. はじめに

本稿では，スウェーデン語における前置詞 *mot* の意味について分析を行う．前置詞 *mot* は，日本語では〈〜に対して〉[1] や〈〜に向かって〉などと訳されることが多い（松浦 2010; 尾崎他 1990; 菅原・ガルレーン 1987 など）．清水・ラーション・當野 (2016: 300, 301) は，例文(1a)に見られる空間的な意味に加え，(1b)における時間的意味や(1c)における反対・反抗の意味，(1d)における振る舞いや態度を向ける対象を表す意味を挙げている．

(1) a. Polisen kom fram *mot* min bil.〈警察官が私の車の方に向かってやってきた.〉
b. Det blir kallare *mot* kvällen.〈晩になると，より寒くなる.〉
c. Han handlade *mot* lagen.〈彼は法律に違反して行動した.〉
d. Han var artig/snäll/vänlig/ärlig/elak/sträng *mot* mig.
〈彼は私に対して礼儀正しかった/優しかった/親切だった/正直だった/意地悪だった/厳しかった.〉

その他，尾崎他（1990）は比較や交換を表す〈〜と〉や〈〜に比べると〉といった意味も挙げている．以上のことが示すように，前置詞 *mot* は複数の意味を持つ多義語[2]である．さらに，*mot* は英語の *against* および *towards* の両方に対応しており（Kristoffersen 2001; 松浦 2010），スウェーデン語学習者にとっても意味の理解が困難であると思われる．

このことから本稿では，前置詞 *mot* が持つ複数の意味について記述し，さらに相互の意味の間に見られる関係性について分析を行う．本稿の構成は以下の通りである．まず第 2 章では，前置詞 *mot* に関する先行研究を概観する．スウェーデン語 *mot* に関する分析は，管見の限りこれまでにほとんどなされていないため，ここでは *Natur och kulturs svenska ordbok*（以後 NKSO）を中心に辞書の記述を確認する．しかし，ノルウェー語の前置詞 *mot* については Kristoffersen（2001）が詳細な分析を行っているため，こちらも同時に確認したい．その後第 3 章では，コーパスより収集した例文に基づきスウェーデン語 *mot* の複数の意味について記述する[3]．

---

[1] 本稿では，スウェーデン語や英語の日本語訳を〈〉で囲んで示す．また例文中では *mot* をイタリック体で示す．

[2] 國廣（1982：97）は，多義語を「同一の音形に，意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結び付いている語」と定義している．

[3] 本稿では主に Språkbanken が公開しているコーパス PAROLE および Göteborgs-Posten（以後 GP）から例文を引用している．またインターネットからも例文を引用したが，その場

その際，認知意味論の枠組みに基づき *mot* が持つ異なる意味間の関連性についても分析を行いたい[4]．最後に，第 4 章を本稿のまとめとする．

2. 先行研究

2.1. 前置詞 *mot* に関する辞書の記述

まず，NKSO は *mot* の意味を以下の 8 つに分類している．

1. används i stället för “till” när riktningen är viktigare än målet
〈方向性が目的地より重要な場合に“till”の代わりに用いられる〉
2. anger åt vilket håll som man t.ex. har vänt något
〈人が何かをどちらの方向に向けたかを示す〉
3. anger vad som hindrar någon/något, t.ex. från att falla eller fortsätta framåt
〈誰か/何かが落ちたり前進することを妨げるものを示す〉
4. används när man talar om tiden strax före eller i början av något
〈何かの直前や開始直後の時間について話す際に用いられる〉
5. om man jämför med ... 〈...と比べるなら〉
6. anger vad man får tillbaka när man ger något
〈何かをあげたときにお返しにもらうものを示す〉
7. används med adjektiv som talar om hur man uppför sig tillsammans med andra
〈人と一緒にいる際にどう振る舞うかについて述べる形容詞と用いられる〉
8. används med ord som “kämpa” och “protestera” för att ange vad man vill stoppa
〈何を止めたいかを示すために“kämpa〈戦う〉”や“protestera〈抗議する〉”
のような語と一緒に用いられる〉

また，NKSO に挙げられている上の定義に対応する用例を一つずつ挙げておきたい．

(2) a. Han sprang *mot* dörren men blev stoppad av vakterna.
〈彼はドアの方へ走って行ったが，警備員たちに止められた.〉
b. Hon vände ansiktet *mot* solen. 〈彼女は顔を太陽の方に向けた.〉
c. Hon kastade en sten *mot* rutan men inget hände.
〈彼女は窓に向けて石を投げたが，何も起こらなかった.〉

合トップレベルドメインが“.se”のウェブサイトに限定した．

[4] 別義間の関連付けにはメタファーやメトニミーが重要な役割を果たす．籾山（1997: 31）はメタファーを「二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて，一方の事物・概念を表す形式を用いて，他方の事物・概念を表すという比喩」，メトニミーを「二つの事物の外界における隣接性，あるいは二つの事物・概念の思考内，概念上の関連性に基づいて，一方の事物・概念を表す形式を用いて，他方の事物・概念を表すという比喩」と定義している．メタファー，メトニミーに関しては，本稿でも以上の定義にしたがう．

d. Filmen blev bättre *mot* slutet.
〈その映画は終わりに近づくにつれて良くなっていった.〉
e. Det är ingenting *mot* hur det brukar vara.〈いつもと比べるとなんでもない.〉
f. byta något *mot* något〈何かと何かを交換する〉
g. artig/oartig *mot* någon〈誰かに対して礼儀正しい/無礼である〉
h. skydda sig *mot* någon/något〈誰か/何かから身を守る〉

（以上 NKSO：日本語訳筆者）

以上の定義に関して二つ問題点を挙げておきたい．まず第一に，NKSO では *ett steg mot demokrati*〈民主主義への一歩〉に見られるようなある状態への方向性を表す意味が扱われていない[5]．次に，それぞれの意味ごとに具体例はいくつか挙げられているものの，辞書という性質から，異なる意味の間の関連性については述べられていない．これはその他の *Svensk ordbok* や *Svenska Akademiens ordbok*（以後 SAOB）のような辞書でも同様である．したがって(2a)にみられるような空間的方向性を表す *mot* と(2e)や(2g)における *mot* との間に共通性を見いだすのは容易ではないと思われる．

2.2. Kristoffersen（2001）による前置詞 *mot* の記述

一方 Kristoffersen（2001）は，ノルウェー語の前置詞 *mot* について，異なる意味間の関連性も含め，認知意味論の枠組みを用いて詳細な分析を行なっている．Kristoffersen は，前置詞 *mot* の意味構造を図 1 のように示している．

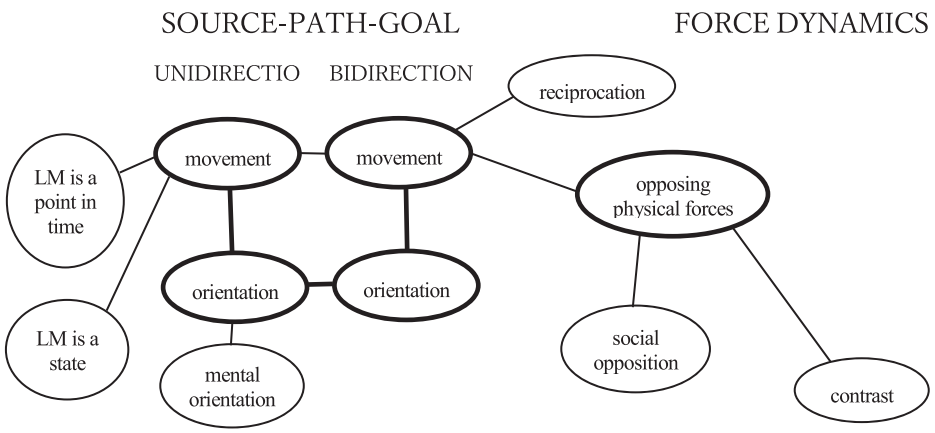

図 1：ノルウェー語 *mot* の意味構造（Kristoffersen 2001: 19 に基づく）

[5] Kristoffersen（2001: 15,16）は，*styre mot en noe svakere krone*〈いくらか弱いクローネに向けて舵をとる〉のような *mot* の意味を，場所として概念化された状態義(States conceptualised as locations）と呼んでいる．この意味に関しては後述する．

以上の *mot* の意味構造に関しては特徴的な点が二つ挙げられる．まず，Kristoffersen は *mot* に対して一方向的な移動（unidirectional movement）と双方向的な移動（bidirectional movement）をそれぞれ独立した意味として認めている．下の(3a)は *mot* の一方向的な移動，(3b)は双方向的な移動に対応する．

(3) a. Jeg gikk *mot* døren.〈私はドアの方へと歩いていった.〉
b. De red *mot* hverandre.〈彼らは馬でお互いに近づいた.〉
（Kristoffersen 2001: 11：日本語訳筆者）

二点目に，Kristoffersen はノルウェー語の *mot* が英語の *towards* と *against* という異なる前置詞に対応する点を指摘し，*mot* の持つ複数の意味の関連性を *towards* が基盤とする経路のイメージ・スキーマ，および *against* が基盤とする力のイメージ・スキーマの観点から説明している[6]．ただし Kristoffersen は，双方向的な移動を表す場合でも，力のイメージ・スキーマに基づく意味を(3b)に挙げた意味とは区別し，相反する物理的な力義（opposing physical forces）に分類している（図 1 参照）．したがって Kristoffersen の意味分類では，*gå mot vinden*〈風に逆らって歩く〉のような例は双方向的な移動の意味ではなく相反する物理的な力を表す意味に分類される[7]．

以上のように，Kristoffersen（2001）は *mot* のそれぞれの意味の関連性についても詳細な議論を行なっているが，ここでは二つの問題点を指摘しておきたい．一点目は，一方向的な移動と双方向的な移動が異なる意味として認められている点である．先述の通り，Kristoffersen にしたがえば *gå mot vinden* のような例は双方向的な移動ではなく，相反する物理的な力を表す意味に分類される．Kristoffersen によると双方向的な移動の意味に分類されるのは(3b)のような例であるが，(3b)における双方向的な移動の意味はむしろ *hverandre*〈お互い〉から得られるものであると考えられる．実際，Kristoffersen は *mot* の双方向の移動の意味に分類される例を(3b)の例しか挙げていない．

二点目に，Kristoffersen は *mot* の複数の意味の関連性についても説明を行なっているが，授受（reciprocation）や対照（contrast）の意味など，いくつかの別義

[6] イメージ・スキーマとは，様々な身体運動や物体の操作，知覚の相互作用の中で人間が繰り返し経験するパターン（Johnson 1987: xix）を指す．本稿で扱う経路のイメージ・スキーマは，我々がある地点を出発し，経路に沿って目的地まで進むという経験に基づくイメージ・スキーマである．また，力のイメージ・スキーマはある 2 つの物体がもつ力の衝突，相互作用を表すイメージ・スキーマである．これらのイメージ・スキーマに関しては Johnson（1987）や Lakoff（1987），Talmy（1988）などを参照のこと．

[7] このことから，Kristoffersen（2001）における双方向的な移動とは，相反する物理的な力が作用しない単純な移動であると考えられる．*Bokmålsordboka* では，*gå mot vinden*〈風に逆らって歩く〉が motsatt retning〈反対の方向性〉を持つ *mot* の例として挙げられている．この分類は *Svenska Akademiens ordbok* などにも同様に見られる．

については，あまり詳細な議論を行っていない．例えば，授受の意味については，双方向的な移動の意味が社会ドメイン（social domain）に拡張した結果生じると述べているのみである[8]．

以上の問題点を踏まえ，次章では *mot* の意味について記述を行なう．

3. 前置詞 *mot* の多義

本稿では *mot* に対して 7 種類の意味を認めた．これらの意味について，以下の節で詳しく見ていきたい．

3.1. 基本義：空間的方向性

まず，前置詞 *mot* の基本義について見ていきたい．本稿では，*mot* の基本義を以下のような図式で表される関係と規定する[9]．

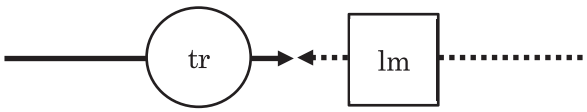

図 2：スウェーデン語における前置詞 *mot* の中心的意味[10]

図 2 は，lm に向かって tr の空間的方向付けが与えられていることを表している．tr の空間的方向性は，以上の図式では実線の矢印で表されている．それに対して lm は，tr に向かって方向付けがなされている場合もあれば，なされていない場合もあり，これは点線で表されている．上の図式で表される空間的方向付けにおいて最も典型的なのは実際の移動を表す場合である．

(4) a. Polisen kom fram *mot* min bil. (=1a)
〈警察官が私の車の方に向かってやってきた.〉

---

[8] 上述の通り，Kristoffersen は経路のイメージ・スキーマ，力のイメージ・スキーマの観点から *mot* を分析している．また，*mot* は英語の *towards* で表される経路のイメージ・スキーマ，および *against* で表される力のイメージ・スキーマの両方に対応していることから，これらのイメージ・スキーマには何らかの関連性が存在しているはずであると主張している．図 1 において，力のイメージ・スキーマに基づく意味を双方向の移動を表す意味と関連づけていることを踏まえると，*mot* が表す一方向的な移動と双方向的な移動を別義としたのは，経路のイメージ・スキーマおよび力のイメージ・スキーマに基づく意味を区別するためであったと考えられる．

[9] 本稿では，前置詞 *mot* の意味を図式で表す際に，トラジェクターおよびランドマークという用語を用いる．ある概念に関して，概念化者が注目する（際立ちの高い）部分をプロファイル（profile）と呼ぶ．そのプロファイルの中で最も際立ちの高い部分がトラジェクター（trajector: tr）であり，次に際立ちの高い部分がランドマーク（landmark: lm）である．詳しくは Langacker（1987: Ch.6）を参照のこと．

[10] Jón Friðjónsson（1988）は，*mot* に対応するアイスランド語 *á móti* の意味を向かい合う矢印で示している．なお，前置詞 *mot* は動詞 *möta*〈会う〉と同語源である（Hellquist 1922）．

b. Han sprang *mot* skogen.〈彼は森の方に向かって走った.〉(PAROLE)

c. Hårt knyter hon näven och hytter den *mot* himlen. (PAROLE)
〈彼女は拳をかたく握りしめて，天に向かって振り上げる.〉

d. Han sprang *mot* dörren men blev stoppad av vakterna.（= 2a）
〈彼はドアの方へ走って行ったが，警備員たちに止められた.〉

(4a)の文では，私の車に向かって警察官が実際に近づいており，(4b)では彼が森の方に向かって走っている．これらの文では，警察官(4a)と彼(4b)が tr でありそれぞれ lm である車と森に向かって実際に移動している．また(4c)も，拳が天に向かって実際に振り上げられていることから tr の移動を含む例と言える．最後に(4d)も，lm であるドアの方に tr の彼が走って行っていることから，実際の移動を表している．しかし，(4d)からも分かるように，*mot* が用いられた場合に tr は lm として示される目標地点に必ずしも到達する必要はない[11].

続いて，tr が移動した結果 lm と接触する場合について確認したい．これは図２において tr と lm が衝突する最終地点に焦点がおかれた例である．

(5) a. Båten törnade *mot* en sten.〈ボートが岩にぶつかった.〉（SO）

b. En ung man med lång hästsvans dunkar huvudet *mot* golvet. (PAROLE)
〈長いポニーテールの若い男は頭を床に打ちつける.〉

c. Hon kysste honom och lutade sig *mot* hans axel igen. (PAROLE)
〈彼女は彼にキスをして再び彼の肩にもたれかかった．〉

(5a)では *båten*〈ボート〉, (5b)では *huvudet*〈頭〉が tr であり, それぞれ lm の *sten*〈岩〉および *golvet*〈床〉に実際に衝突している．(5c)の文では，(5a,b)と同等の衝撃はないものの *hon*〈彼女〉と *hans axel*〈彼の肩〉が最終的に接触する．これらの例では全て，静止している lm に向かって tr が移動している．

さらに tr が lm に向かって実際には移動していない場合でも *mot* は使用される．

(6) a. Hon går, fortfarande med blicken höjd *mot* himlen. (PAROLE)
〈彼女は，未だ視線を空高く向けたまま歩いて行く.〉

b. Han vände sig *mot* chauffören.〈彼は運転手の方を振り向いた.〉(PAROLE)

c Rökelsevägen löpte från Jemen upp *mot* Medelhavet. (PAROLE)
〈香の道は，イエメンから地中海に向かってのびていた.〉

(6a)では，lm である空に対して彼の視線が向けられており，その視線によって方向づけが与えられている．実際の移動を伴わない事態に対して知覚者が何らかの移動を読みとる現象を虚構移動（fictive motion）と呼ぶが，(6a)も虚構移動の

[11] 到達点を必ずしも含意しない *mot* に対し，同じく方向性を表す前置詞 *till* は到達点を含意する．

一例であると考えられる[12]．また(6b)でも，lm に向かう tr の実際の移動は感じられないが，lm である運転手に対して tr の彼が顔を向けており，それによって tr の方向づけがなされている．(6b)には，(6a)の *blicken*〈視線〉のような語が用いられておらず，視線の移動は明示的には表されていない．しかしながら(6b)では，顔を向けるという行為によって lm である運転手に目を向けることが含意されることから，(6b)は(6a)と並行する例であると言える．続いて(6c)では，*rökelsevägen*〈香の道〉自体は動いていないものの，あたかも香の道がイエメンから地中海に向けて走っているかのように捉えられている．

さらに，下の(7)も tr と lm の移動は感じられない．

(7) a. Nitton inramade svartvita fotografier lutar sig *mot* väggen i utställningshallen. (GP2002)

〈19 のフレームに入った白黒写真が展示場の壁にもたれかけてある．〉

b. Framsidan av huset ligger *mot* Prinslotten-parken där även Pressbyrån finns.[13]

〈家の前面がプレスビューロンもあるプリンスロッテン公園に面している．〉

(7a)では(5c)と同じく動詞 *luta*〈もたれかける〉が用いられているが，この文が表しているのは写真が壁に立てかけられている状態であり，(5c)における *mot* の結果状態に焦点がおかれた用法であると考えられる．一方(7b)における tr と lm はどちらも完全に静止しており，また(7a)のような移動の結果状態を表しているとも考えにくい．しかしながらこの例の場合，家の向きによって空間的な方向づけが与えられるため，家の出入り口のある面が前面と解され，その前に公園が位置していると考えられる．家のそばであるという点では前置詞 *vid*〈～の付近で〉も用いられるが，*vid* の後に取られる場所に対する家の向きは特定されない[14]．

基本義の例として，最後に tr と lm が両方とも移動する場合を見ておきたい．

(8) a. Hur kommer det sig att moln ibland rör sig *mot* vinden? (GP2011)

〈雲が時々風に逆らって動くのはどうしてだろうか？〉

b. För att komma till källan måste man simma *mot* strömmen. (GP2012)

〈水源にたどり着くには流れに逆らって泳がなければならない．〉

(8a)では，tr である雲が lm である風に逆らって移動している．また(8b)でも，水が流れてくる方向に向かって，つまり流れに逆らって泳ぐという事態が想定されている．このように tr と lm が両方とも移動する場合，しばしば tr と lm が持つ力は反抗しあう．実際(5)に示した文においても，tr と lm が衝突するのにも関わ

---

[12] これは Talmy（1996）における sensory paths に対応すると思われる．スウェーデン語における視覚に関する虚構移動表現については Pietrzak-Porwisz（2010）で触れられている．

[13] http://www.teasfastigheter.se/husebyg_4.htm（2018 年 7 月 3 日検索）

[14] 前置詞 *vid* を用いた例としては，以下のような文が挙げられる．

i) Sommarstugan ligger vid sydkusten.〈サマーコテージは南海岸沿いにある．〉(PAROLE)

らず lm が動いていないと思われることから，tr の持つ力とは反対方向の力が lm には働いていることが分かる．この相反する力関係が別義 6 における反対の意味の基盤となる．

ここまで見てきた *mot* は全て空間的な方向性が与えられた例であり，その多くが実際の移動をともなっている．したがって，後述する心的方向性や時間的意味と比べると具体性が高い．また以下で確認するように，この基本義は後述する様々な別義の意味拡張の起点となりうる．このことから，空間的方向性の意味を *mot* の基本義とするのは妥当であると思われる．

3.2. 別義 1：心的方向性；何らかの態度を示す対象に対して

前節では *mot* の基本義である空間的方向性を表す意味について確認した．本節以降では，基本義から派生する様々な意味について見ていく．清水・ラーション・當野（2016）や NKSO でも扱われているように，*mot* は先に示した空間的な方向性だけでなく，何らかの態度を示す対象に向けた心的方向性を表すこともある．

(9) a. Varför är du så snäll *mot* mig? (PAROLE)
〈なぜあなたは私に対してそんなに優しいの？〉
b. Han var den ende som var elak *mot* mig. (GP2011)
〈彼は私に対して意地悪な唯一の人間であった.〉

(9)の文では，それぞれ *snäll*〈優しい〉や *elak*〈意地悪な〉によって表されている心的態度がどちらも lm である *mig*〈私〉に向けられている．

Kristoffersen（2001）もこの用法を *mot* の独立した別義として認めており，この意味は，空間的な方向性から心理的な方向性へのメタファー的拡張の例であると述べている．Kristoffersen は，以上のメタファー的拡張の動機付けに関してはこれ以上詳しく述べていないが，以下のような例が意味拡張の動機付けとなっていると思われる．

(10) a. Han ler *mot* Laura.〈彼はラウラに向かって微笑む.〉(PAROLE)
b. Hon nickar *mot* honom med ett stort leende. (GP2001)
〈彼女は満面の笑みで彼に向かってうなずく.〉

(10a)では tr である彼が lm のラウラに対して微笑みかけており，また(9b)では tr の彼女が lm の彼に対してうなずいている．これらの例は，どちらも tr が lm に顔を向けていることが想定されるため，(6b) における *vända sig mot*〈の方を向く〉の用法と並行していると考えられる．加えて，(10)では *le*〈微笑む〉や *nicka*〈うなずく〉のような動詞が用いられており，tr の心的態度が lm に向けられていることが分かる．これらをふまえると，(9)のような用法は，空間的方向性と心的方向性の両方を含む(10)のような例から，心的態度に焦点が置かれた結果生じたメ

トニミー的拡張の例であると考えられる.

3.3. 別義 2：時間的意味

次に，*mot* の時間的意味についても見ておきたい．*mot* が時間的意味で用いられると，lm で表される時間の直前あるいは開始直後を表す.

(11) a. Den svenska ekonomin mattades *mot* slutet av 1995. (PAROLE)
〈スウェーデン経済は 1995 年の終わりにかけて衰えた.〉
b. Det var först *mot* slutet vi började styra matchen. (PAROLE)
〈終盤に入りようやく我々が試合を支配し始めた.〉
c. Fram *mot* kvällen började det regna. (NKSO)
〈晩にさしかかると，雨が降り始めた.〉

Kristoffersen (2001) が述べているように，*mot* の時間的意味への拡張は，TIMES ARE LOCATIONS IN SPACE という概念メタファー[15]を基盤として生じたものと考えられ，以下のような図式で表すことができる[16].

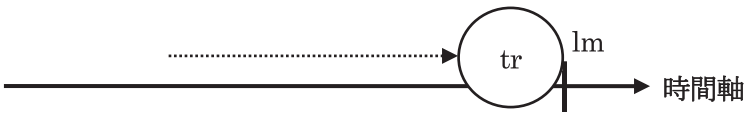

図 3：*mot* の時間的意味

図 3 では，lm は時間軸上の一地点を表しており，tr となる何らかの事象が lm が表す時間の付近で発生するという事態が示されている．例えば(11a)の文では，lm は 1995 年の終わり，tr はスウェーデン経済の衰退であり，1995 年の終わりに近づくにつれてスウェーデン経済が衰えていく事態が表されている.

3.4. 別義 3：目標義（場所としての状態義）

さらに *mot* は何らかの状態を表す名詞を取ることがある. Kristoffersen(2001) は，これを場所として概念化された状態義（States conceptualised as locations）として，独立した別義を立てている．この意味ではしばしば目標となる状態を表す名詞が *mot* の後に取られる.

---

[15] Lakoff & Johnson（1980）は，人間の概念システムがメタファーを基盤として成り立っていることを，多くの体系的な概念メタファーの例を挙げながら示している.

[16] (11a,b)では *mot* の後に *slut*〈終わり〉，(10c)では *kväll*〈晩〉が現れているが，ここに *början*〈始まり〉や *morgon*〈朝〉が用いられた例はコーパス内ではほとんど見られない．例えば，PAROLE コーパスにおいて *mot början* の例は 1 例である．これは，ある出来事・事象の開始時間あるいは一日の始まりなどを lm とした場合，さらにその前の時間を想定し難いからであると思われる.

(12) a. Nästa steg på vägen *mot* EU måste Finlands riksdag ta. (GP 1994)
〈フィンランド国会は EU に向かって次の一歩を踏み出さなければならない.〉
b. Det första steget på den långa vägen *mot* demokrati i Irak har tagits. (PAROLE)
〈イラクにおける民主主義への長い道のりの第一歩が踏み出された.〉
c. Hur kan vi konsumenter påverka utvecklingen *mot* miljövänligare kläder?
〈私たち消費者はより環境に優しい服に向けての開発にどのように影響を与えられるだろうか？〉(GP2010)
d. Det viktigaste på vägen *mot* en god latte är att göra espresson rätt. (GP2003)
〈おいしいラテのために最も重要なのは，エスプレッソを正しくつくることだ.〉

Kristoffersen が述べているように，この意味拡張は STATES ARE LOCATIONS という概念メタファーに基づく．このメタファーの下では，抽象的な目標がより具体的な目的地と解される．(12a,b)の文では，それぞれ目標とする状態である EU および *demokrati* 〈民主主義〉が *mot* の後に現れている．また(12c,d)の *miljövänligare kläder* 〈より環境に優しい服〉や *en god latte* 〈おいしいラテ〉のように，より具体的な目標物が用いられることもある．なお，以上に挙げた例のような目標義では(12a,b,d)のようにしばしば *väg* 〈道〉をともなって *mot* が用いられるが，類似した表現として前置詞 *till* 〈～へ，～に〉を用いた *på vägen till* も存在する．

(13) Det första steget på vägen *till* fred måste alltid vara att människor talar med varandra. (GP2009)
〈平和への最初の一歩は，常に人々が互いに話し合うことでなければならない.〉

最後に，以上で確認した目標義では *mot* の後に好ましい状態を表す名詞と共起することが多い．実際(12)で挙げた例も *mot* の後には全て好ましい状態を表す名詞が現れている．それに対して，*mot* の後に否定的な評価をともなう名詞が現れる場合，*mot* はしばしば *protestera* 〈抗議する〉や *kämpa* 〈戦う〉などと共起し，後述する対立・反対の意味で用いられることが多い．ただし(14b)のように，目標義においても否定的な評価をともなう名詞が *mot* の後に現れることがある．

(14) a. Det är ännu ett steg *mot* fred, *mot* vår frihet, säger han. (GP 2005)
〈それは平和への，私達の自由へのさらなる一歩である，と彼は言う.〉
b. Det här är steg på vägen *mot* krig, förklarade i går Raja Mohan, tidigare medlem av Nationella säkerhetsrådet. (GP 2002)
〈これは戦争への歩みであると，昨日，前国家安全保障諮問委員のラジャ・モハンは説明した.〉

(14a)では，好ましい状態を表す名詞 *fred* 〈平和〉，*vår frihet* 〈私たちの自由〉が

mot の後に現れている．それに対して，(14b)では，*krig*〈戦争〉という否定的な評価をともなう名詞が *mot* の後に用いられている．

3.5. 別義 4：授受

mot は交換や授受を表す際にも用いられる．下の(15)はその一例である．

(15) a. Hon beslutar sig för att byta sedeln *mot* två sista öl, sedan ta livet av sig.
〈彼女はそのお札を最後の 2 杯のビールと引き換え，そして命を断つことに決める.〉(GP2004)

b. Övriga två har bytt tjänster *mot* billig alkohol. (GP2005)
〈残りの 2 人は仕事分を安いアルコールに換えた.〉

c. Ungdomar säljs som slavar till Sudan i utbyte *mot* vapen. (PAROLE)
〈若者たちは，武器と交換でスーダンに奴隷として売られている.〉

(15a)では，*sedel*〈お札〉を *två sista öl*〈最後の 2 杯のビール〉と，(15b)では *tjänst*〈仕事分〉と *billig alkohol*〈安いアルコール〉とを交換している．また，(15c)では *i utbyte mot*〈と交換に，の代わりに〉の形式で *mot* が用いられ，*ungdomar*〈若者たち〉と *vapen*〈武器〉が交換の対象となっている．NKSO や Kristoffersen（2001）もこの授受の意味を独立した意味として認めており，Kristoffersen は授受の意味を双方向的な移動（bidirectional movement）からの拡張として説明している．この説明にしたがえば，(15)の文で tr となるのはそれぞれ「お札」と「仕事分」，「若者たち」であり，lm となるのは「ビール」および「アルコール」，「武器」であると考えられる．

しかしながら，上の例に見られる授受義は目標義からの拡張とも考えられる．

(16) a. Är det olagligt att spå folk *mot* betalning? (GP2008)
〈お金をとって人々を占うのは違法であるのか？〉

b. ...vi tipsade varann om läkarna som är snabba på att skriva ut *mot* pengar.
〈私たちは，お金ですぐに処方箋を書くような医者についてお互いに情報を交換した.〉(GP2003)

(16a)の文は，*mot* が目標義で用いられた例である.この例では，*betalning*〈支払い〉が最終的な目標とみなされ，その目標を達成するために占い（“*spå folk*〈人々を占う〉”）が行われる．また(16b)の文も *pengar*〈お金〉を目標物とする目標義の例と考えられる．しかしながら(16b)の文は，*byta*〈換える〉や *utbyte*〈交換〉のような語は用いられていないものの，処方箋を書くというサービスとお金の交換が行われていると考えれば授受義にも分類可能であると思われる．このように，目標義に分類可能な例の中には，ある目標を達成するために，何らかのサービス等が行われることを示すものがある.目標義から授受義への意味拡張は，以上のよ

うな例を基盤としていると考えられる．

先にも述べたように, Kristoffersen (2001) は授受義を双方向の移動の意味が社会ドメインに適用された結果生じたものとみなしている（図 1 を参照）．しかしながら，Kristoffersen の説明では *mot* の基本義と授受義との関連性をうまく捉えることができないと思われる．つまり，*mot* はその基本的な意味において lm に向かう tr の空間的方向性を表し，そして tr と lm はその終端地点において接触する．この点は, 例文(4)から(7)を見ても明らかである．しかしながら, Kristoffersen の説明にしたがえば，授受義において tr と lm は最終的に接触せずすれ違うことになるため，基本義とは全く異なる図式を想定する必要がある．しかしながら，本稿のように授受義を目標義からの拡張と考えれば，lm は目標物，tr はその目標物に達するための交換物やサービスとしてみなされるため，目標義からの自然な拡張として捉えられる．このことから授受義は，単純な双方向的な移動の意味からの拡張というよりも，むしろ目標義からの拡張と考えるのが妥当であると思われる．

3.6. 別義 5 ：対立・反対・対抗

3.1 の(8)では，*mot* の基本義において tr と lm が両方とも移動する場合，しばしば相反する力関係が生じることについて確認した. Kristoffersen (2001: 17) は，この相反する力関係が議論などを含む社会ドメインに適用された結果，対立・対抗の意味が生じると述べている．この意味では，対立・対抗する対象が lm として表される．下の(17)では，lm はそれぞれ *kärnkraften* 〈原子力〉 および *det som är fel* 〈間違ったこと〉，*förkylning* 〈風邪〉 である．

(17) a. Jag har alltid varit *mot* kärnkraften. (PAROLE)
〈私は原子力には常に反対であった.〉

b. Du ska protestera *mot* det som är fel, men ta inte till våldshandlingar.
〈間違ったことに対しては抗議をしなければならないが，暴力に走ってはいけない.〉 (GP2001)

c. Den här säsongen har hon hela tiden kämpat *mot* förkylningar. (GP2010)
〈この季節，彼女はずっと風邪とたたかってきた.〉

NKSO も述べているように，この意味の *mot* はしばしば *protestera* 〈抗議する〉 (17b)や *kämpa* 〈戦う〉 (17c)といった動詞をともなう．また次の(18a,b)では(17c)と同じく *mot* の後に *förkylning* 〈風邪〉 が用いられており，特に(18b)では，対抗の意味に加えて予防の意味も見て取れる．さらに(18c,d)でも *skydda* 〈守る〉 や *gardera* 〈防御する〉 という動詞が用いられており，防ぐという意味が顕著である．

(18) a. När kommer medicinen *mot* förkylning? (GP2009)
〈風邪に効く薬はいつできるのでしょうか？〉
b. En ny studie visar att måttlig daglig träning skyddar *mot* förkylning. (GP2006)
〈適度な毎日のトレーニングが風邪を防ぐことが，新たな研究で示されている.〉
c. Det är inte bara så, att jag beundrar Julia och vill försöka skydda Julia *mot* allt ont. (PAROLE)
〈ただ私がユーリアを敬愛し，全ての悪からユーリアを守ろうとしたいというわけではない.〉
d. Naturligtvis går det inte att gardera sig *mot* allt våld. (GP2002)
〈当然のことながら，全ての暴力から身を守ることはできない.〉

一見すると，対立・対抗の意味と予防・防御の意味は別義として扱うべきとも考えられる．しかし，防ぐという意味はむしろ *skydda*〈守る〉のような動詞から引き出されたものであり，*mot* 単独ではあくまで lm への対立・対抗を表していると考えられる.実際，NKSO もこれらの意味を同一の意味とみなしており，本稿でも同一の意味として扱った.

3.7. 別義 6：と対比して，を背景に

最後に，*mot* は何らかの事態を比較・対比する際にも用いられる.

(19) a. Grankvistarna ligger där för att ge snön kontrast *mot* den novembergrå himlen.
〈11 月の灰色の空に対するコントラストを雪に与えるために，オウシュウトウヒの枝がそこに置かれている.〉(PAROLE)
b. Hon fick bara hälften *mot* vad jag fick. (NKSO)
〈私がもらったものと比べると彼女はその半分しかもらっていない.〉
c. Bangladesh införde på torsdagen dödsstraff för bombdåd, *mot* bakgrund av den senaste tidens studentoroligheter. (PAROLE)
〈バングラディシュは木曜日に，ここ最近の学生たちの不穏な動きを背景に，爆弾を使った犯罪に対して死刑を導入した.〉

(19a)では雪と灰色の空が視覚的な対照をなしており，この文は比較や対照を表す意味の典型的な例であると思われる．それに対して，(19b)や(19c)は，(19a)と比べて視覚的な意味が薄れている.

この意味拡張に関しては，Kristoffersen（2001）が“*opposition implies contrast*〈反対は対照の意味を含む〉（p.18）”と述べている.つまり，反対（opposition）とは二者の間に認められる対立関係を意味しているが，対照・対比（contrast）も常に

二つの事態の間に見られる違い・対立関係を含んでおり，この対立関係を基盤として，対立・反対を表す別義 5 から対比・対照を表す別義 6 への拡張が起きたと考えられる．同様の意味拡張は英語の前置詞 *against* にも見られ，いくつかの分析が行われている（瀬戸編 2007; Lindstromberg 2010; 辻 2014 など）．瀬戸編（2007）は，*against* におけるこの意味拡張を，基本義である物理的な力の対立から視覚的な光・色の対立へのメタファー的拡張と述べている．

4. まとめ

本稿では，スウェーデン語の前置詞 *mot* の意味を 7 つに分類し，さらにそれぞれの別義が相互に関連していることを明らかにした．最後に *mot* の持つ複数の意味の間の関係を以下に示し，これを本稿のまとめとしたい．

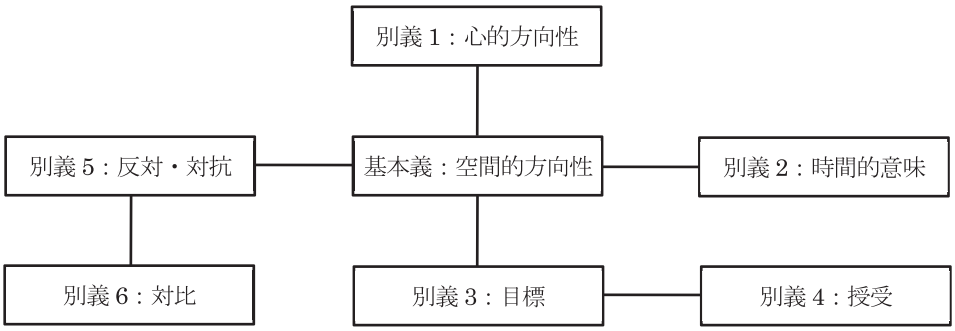

図 4：スウェーデン語前置詞 *mot* の意味構造

Om betydelser av svenskans preposition *mot*

Yuki Minamisawa

Sammanfattning

Den här uppsatsen behandlar betydelser av svenskans preposition *mot*. Inom den kognitiva semantiken har det varit mycket fokus på polysemi hos prepositioner och många studier har visat att olika betydelser av prepositionerna är relaterade till varandra. Det finns dock inte mycket forskning om polysemi hos prepositioner i svenska. Därför fokuserar uppsatsen på svenskans preposition *mot* och beskriver olika betydelser av ordet: 1) grundbetydelse: *rumslig inriktning*, 2) *mental inriktning*, 3) *temporal betydelse*, 4) *mål*, 5) *utbyte*, 6) *motstånd*, och 7) *kontrast*. Det diskuteras också hur dessa betydelser är relaterade till varandra genom metaforer och metonymier.

参考文献

Bokmålsordboka. URL: https://ordbok.uib.no/

Hellquist, Elof. 1922. *Svensk etymologisk ordbok*. Lund: C. W. K. Gleerups förlag.

Johnson, Mark. 1987. *The Body in the Mind: The Bodily Basis of Meaning, Imagination, and Reason*. Chicago/London: University of Chicago Press.

Jón Friðjónsson. 1988. *Forsetningar í íslensku*. Reykjavík: Málvisindastofnun Háskola islands.

Kristoffersen, Kristian Emil. 2001. “Semantic Structure of the Norwegian Preposition *mot*.” *Nordic Journal of Linguistics* 24, 3-28.

國廣哲彌. 1982.『意味論の方法』. 東京：大修館書店.

Köhler, Per Olof & Ulla Messelius. 2001. *Natur och kulturs svenska ordbok*. Stockholm: Natur och Kultur.

Lakoff, George. 1987. *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*. Chicago: University of Chicago Press.

Lakoff, George & Mark Johnson. 1980. *Metaphors We Live By*. Chicago: University of Chicago Press.

Langacker, Ronald W. 1987. *Foundations of Cognitive Grammar: Volume I Theoretical Prerequisites*. Stanford: Stanford University Press.

Lindstromberg, Seth. 2010. *English Prepositions Explained*, Revised edition. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.

松浦真也. 2010.『スウェーデン語の基本単語文法+基本単語 3000』. 東京:三修社.

籾山洋介. 1997.「慣用句の体系的分類-隠喩・換喩・提喩に基づく慣用的意味の成立を中心に-」,『名古屋大学国語国文学』80: 29-43.名古屋:名古屋大学国語国文学会.

尾崎義・田中三千夫・下村誠二・武田龍夫. 1990.『スウェーデン語辞典』. 東京：大学書林.

Pietrzak-Porwisz, Grażyna. 2010. “Så långt ögat når. Visuell perception som metaforfält i svenskan.” In: Cecilia Falk, Andreas Nord & Rune Palm (eds.) *Svenskans beskrivning* 30, 281-290. Stockholm: Institutionen för nordiska språk, Stockholms universitet.

瀬戸賢一編. 2007.『英語多義ネットワーク辞典』. 東京：小学館.

清水育男・ウルフ・ラーション・當野能之. 2016.『スウェーデン語』. 大阪：大阪大学出版会.

Språkbanken (= http://spraakbanken.gu.se/)

菅原邦城・クラース・ガルレーン. 1987.『スウェーデン語基礎 1500 語』. 東京: 大学書林.

Svenska Akademien. 2009. *Svensk ordbok*. Stockholm: Norstedts.

Svenska Akademiens ordbok. URL: https://www.saob.se/

Talmy, Leonard. 1988. “Force Dynamics in Language and Cognition.” *Cognitive Science* 12, 49-100.

Talmy, Leonard. 1996. “Fictive Motion in Language and ‘Ception’.” In: Paul Bloom, Mary A. Peterson, Lynn Nadel & Merrill F. Garrett (eds.) *Language and Space*, 211-276. Cambridge MA: MIT Press.

辻早代加. 2014.「前置詞 against の多義について」,『JELS 日本英語学会大会・国際春季フォーラム研究発表論文集』31: 235-241. 日本英語学会.